

南相馬市復興工業団地管理業務
仕様書（案）

1 目的

本仕様書は、福島ロボットテストフィールド 南相馬市復興工業団地管理業務について、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構（以下「甲」という。）が委託をして、受託者（以下「乙」という。）が行う業務の内容と要領を定めたものである。

2 管理場所

（1）施設名称

福島ロボットテストフィールド

（2）施設所在地

福島県南相馬市原町区萱浜字新赤沼 1 5 2 番 5 5

（3）作業場所

南相馬市復興工業団地内 ※別紙資料参照

3 履行期限

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日

4 業務内容

（1）工業団地内の草類の刈払い作業

- ・ハンドガイド式作業 作業面積 68,400 m² (34,200 m²×2 回)
- ・肩掛式作業 作業面積 34,400 m² (17,200 m²×2 回)

（2）工業団地敷地内の巡回管理 回数 週 1 回（月 4 回程度）以上

- ・パトロールは世話役を含めた 2 名以上とする。
- ・異常が確認された場合は担当職員と協議し適切な処理を行うこと。
- ・降雨が予想される場合は水路等の管理をし、その機能を十分に果たせるようにする。
- ・工業団地の流末施設（北原川排水樋管）の動作等の確認を行う、管理方法については担当職員と協議を行うこと。

（3）北原川調整池の管理

- ・調整池の堆積土砂は場内処理による。
- ・除草作業後の調整池基面の整正を行う。
- ・機械掘削（土砂）25 m³バックホウ等による。
- ・土砂運搬（小規模土工 0.3 km以下運搬）25 m³
- ・参考作業日数 5 日（世話役 1 人/日 作業員 2 人/日）
- ・作業においては、担当職員の指示のもとに適切な作業を行うこと。

5 提出書類

- (1) 業務実施については、「工程表」を作成し、「主任技術者等通知書」、を担当職員まで提出するものとする。
 - (2) 業務実施に当たっては、写真（作業前・作業状況・作業後）を報告書（成果品）に添えて、業務担当職員まで提出するものとする。
 - (3) 業務完了後は、「業務完了届」を成果品等に添付して、前記の全ての書類と供に速やかに担当職員まで提出するものとする。
- 6 本委託契約に関する一般的事項は次のとおりとする。
- (1) 乙は、業務の実施にあたり、常に傷害事故及び火災その他の事故が発生することのないよう十分に注意すること。
 - (2) 本委託の業務従事者（以下「従事者」という。）は、作業中、常に清潔で利用者並びに甲の職員等に不快感を与えない、一定の作業衣等を着用すること。
 - (3) 従事者は、作業中における事故防止に努めること。なお、作業中に事故が発生したときは、受託者の責任において処理し、速やかに甲に連絡すること。
 - (4) 従事者は、作業中における甲の建物、設備機器等の破損防止に努めること。なお、作業中に甲の建物、設備機器等を破損したときは、直ちに甲に連絡してその指示に従い、受託者の責任において修理するものとする。
 - (5) 従事者は、業務の遂行において、利用者並びに甲の職員等に迷惑がかかることがないように努めること。
 - (6) 従事者は、業務の遂行に専念し、必要以外の場所に立ち入らないこと。
 - (7) ロボット草刈機等を使用して一定割合以上の面積において作業を実施すること。なお、導入面積や手法については、あらかじめ担当職員と協議すること。
 - (8) 作業に要する消耗品及び作業器材は、乙が用意すること。
 - (9) 作業の結果生じる、使用済みの消耗品及び作業器材の部品等の廃棄物は、乙の責任により処分すること。
- 7 業務管理
- (1) 南相馬市の環境マネジメント活動について理解、協力し、南相馬市環境配慮指針集に基づき環境に配慮した活動を行わねばならない。
 - (2) 乙は、本委託業務を遂行するにあたり、関係諸法令の基準に適合するよう業務を行わなければならない。なお、平常時においても非常時に備えて的確に対処できる体制を整えておかなければならない。
 - (3) 施設のトラブル等の発生または発生が予知される場合には、速やかに甲に連絡通報し、その指示に従わなければならない。
- 8 異常箇所の通報
- 乙は、事故等を未然に防止するため、RTF 内の諸施設に異常があることを発見した場合には、その都度甲に報告するとともに、その指示に従って対処し、その経過及び結果を報告しなければならない。

9 留意事項

- (1) 施設の管理運営に極力支障の生じないよう、作業日時、作業内容等について甲の指示に従うこと。
- (2) 本作業の費用として処分・運搬等に係る一切の経費を含むこと。
- (3) 作業中に施設に損害を及ぼした場合は、乙が原形復旧し、その費用については乙の負担とする。

10 その他

本仕様書に明記されていない事項または、疑義を生じた事項については、発注者、受注者双方において協議し定めるものとする。